

医療検診が苦手な児童生徒はいませんか？ 教師は、どうにかして受けてほしいなという思いがあって、いろいろ言葉がけをしますが気持ちが向かず、最終抱っこして無理矢理にという流れになることもあるかと思えます。本校にも苦手な児童生徒はいます。少しでも見通しを持って検診を受けられるように視覚的に説明したり、実際に練習をしたりして、事前学習を行っています。一度できたらから次もできる！と思われがちですが、本人が安心して受けるためには、継続して検診前には事前学習の必要があると思えます。

歯科検診できたよ！！



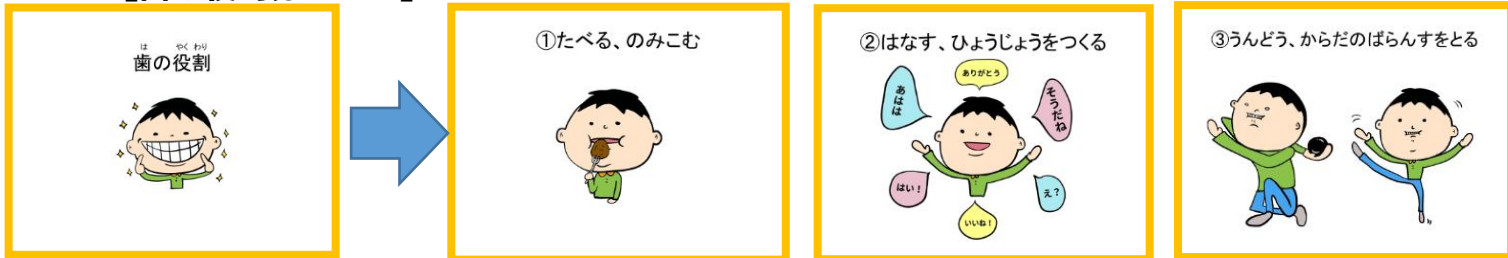
検診の理由や
検診の流れは
わかったよ

I. 歯科検診の意味や検査の内容や順番を パワーポイントで確認

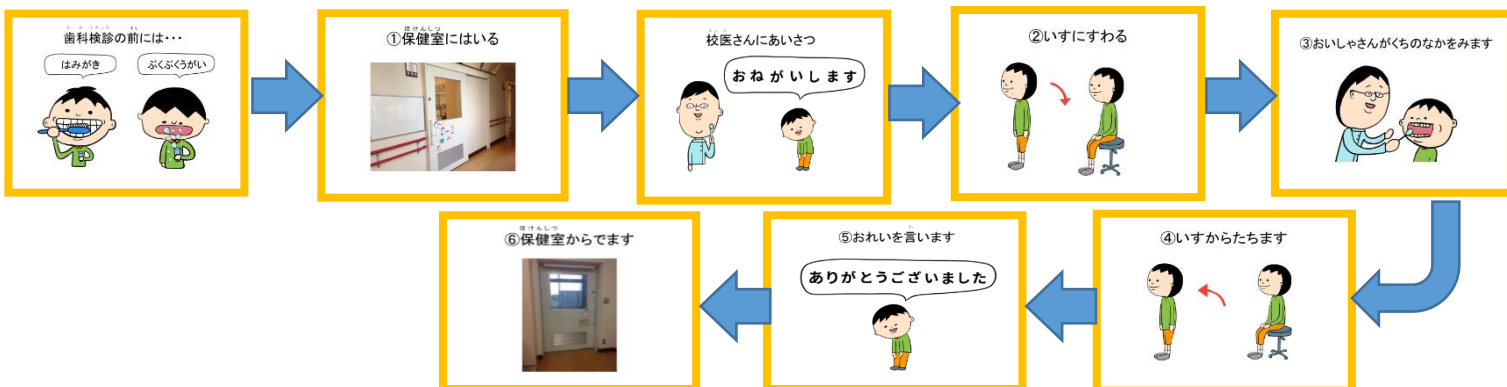
【どうして歯科検診を受けなきゃいけないの？】



【歯の役割は・・・】



【検査の順番】



II. 苦手な部分を知る

(検査の順番表をみて、何が嫌なのかを担当と一緒に考えた。)

- ① : はみがき ⇒ 「余裕 ○」
- ② : 保健室にはいる ⇒ 「余裕 ○」
- ③ : あいさつ → 「言葉でいうのは、無理 ×」

頭をさげて「お願いします」 ⇒ 「大丈夫 ○」

④：椅子に座る ⇒ 「大丈夫 ○」

⑤：口をあける（検診） ⇒ 「無理 ×」

Ⅲ. どうやったらできるかな??? (提案・交渉の関わり)

担任：「なにが無理かな？」⇒生徒：「**口を開けて、つっこまれるのがいや**」

きもちの表出

担任：「自分でやるのはどう？」⇒生徒：「**自分でするのは、いい。けど、歯鏡がいや**」

担任：「歯鏡を歯ブラシに変えたらどう？」⇒生徒：「**まあいけるかも・・・**」

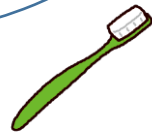
折り合い

担任：「歯ブラシでやってみようか！」

⑥：あいさつ→頭をさげる（「ありがとうございました」）⇒ 「大丈夫 ○」

Ⅳ. 養護教諭と一緒にやってみよう～ (練習)

自分で歯ブラシを使って
するなら・・・練習もしたし、不
安だけど、頑張れるかも。。



Ⅴ. 検診当日

当日は、手元で確認できるスケジュールを準備しました。1つずつできたら、シールを貼り、自分なりに見通しをもち、検診を受けることができました。

1つ1つ大事なことを確認し、漠然とした不安内容を明確にして、自分で決定することはとても大きな意味をもつと思います。そのことを信頼のできる先生に受け止めてもらうことで、頑張ってみようと思え、また成功したことで、「やったー」と自信のひとつになったことと思います。



本人が大好きな
アイドルの写真です

★ 歯科検診 ★

①	あいさつをする。 （「 <u>お願いします</u> 」の意味をこめて頭を下げる。）	
②	いすに座る。 （足は先生のほうに向ける。）	
③	口をあける。 （歯ブラシを使って自分で <u>大きな口</u> をあける。）	
④	あいさつをする。 （「 <u>ありがとうございました</u> 」の意味をこめて頭を下げる。）	

上手にできたら、
先生にシールを貼ってもらおう！

〇〇さんがんぼれ(´▽`)




～本校の医療機関受診手帳の紹介～


希望者のみ使用しています。合理的配慮として、配慮してもらえることが多くなってきています。ドクターに配慮していただき、安心して医療受診できるように、作成しておくとも便利かもしれないですね。

医療機関受診手帳

この手帳は障害のある方の状況を正しく理解していただき
円滑に診療を行っていただく
ためのものです。



内容



フリガナ	
氏名	
呼び名	
障害の程度	例：言語理解が弱い、皮膚感覚が過敏 など
コミュニケーションの取り方	例：言葉では理解できないので、絵や動作などで説明してください。
興味のあること・好きなこと	例：歌が好き、好きなキャラクター など

苦手なこと
例：白衣を着ている人、他人に触られること、大きい音
嫌なことをどのように表現するか
例：言葉で、身体で、自傷など
嬉しいことをどのように表現するか
例：言葉で、身体で、自傷など
痛みを感じた時どのように表現するか
例：泣く、怒る、パニックを起こすなど

パニックを起こすと予想される要因
例：人ごみ、照明、治療椅子など
医療機関の方をお願いしたいこと
例：白衣を着ている人が苦手なため、診療時に白衣を脱いでください。 皮膚感覚に異常がありますので、触診はできれば避けてください。 長時間待つことが苦手なため、順番が近くなったら携帯電話に連絡をしてください。
新しいことを始める時の説明方法
例：口頭、写真、絵カードなど